

第 1 1 2 回 経済史研究会

経済史研究会を下記の通り開催いたします。
大学院生を含め多くの研究者の参加をお待ちしています。

共通テーマ

近世日本の貨幣

第 1 報告

Yamada Hagaki (山田羽書) : An Investigation
of Japan's Oldest Private Paper Currency a numismatic study of Japan's
oldest private paper currency in the Tokugawa period

千枝 大志 同朋大学仏教文化研究所 客員所員

第 2 報告

近世日本の貨幣システムと地域社会

古賀 康士 同志社大学経済学部 准教授

日時

2023 年 10 月 21 日 (土) 13 : 00 ~ 17 : 00

形式

対面形式(大阪経済大学 G 館 3 階 共同研究室 I)

参加ご希望の方は下記フォームよりお知らせください

<https://forms.gle/u3znMupEunD4RfJA9>



新経済史
宣言

大阪に座して
時空を超える

大阪経済大学 日本経済史研究所

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅 2-2-8

TEL : 06-6328-2431 E-MAIL : nikkeisi@osaka-ue.ac.jp

<https://www.osaka-ue.ac.jp/research/nikkeisi/>

報告者からのコメント

「Yamada Hagaki (山田羽書) : An Investigation of Japan's Oldest Private Paper Currency a numismatic study of Japan's oldest private paper currency in the Tokugawa period」

山田羽書は、1610 年頃から明治初期まで伊勢神宮門前町山田で発行された日本初の民間紙幣（私札）である。山田羽書は藩札といった公的紙幣の前身として、日本貨幣史を語る上で必要不可欠な存在であるため更なる実態解明が求められている。本報告では、17～19 世紀代の山田羽書の現物について、特に券面デザインに着目し古紙幣学的なアプローチ等から年代推定等を行う。その上で、デザイン面での変化が生じた歴史的背景等を考察する。

（千枝大志）

「近世日本の貨幣システムと地域社会」

近世日本の貨幣システムの特色の一つに、地域経済において数多くの少額の紙幣（私札など）が発行・流通したことが挙げられるが、そうした状況の制度的前提となったものは何であったのか。本報告では、近世日本の貨幣システムと地域社会の関係性に着目し、いくつかの具体的な事例を挙げながら、この問題を検討する。

（古賀康士）

タイムスケジュール

13:00～14:00	第1報告
14:00～14:30	質疑応答
14:40～15:40	第2報告
15:40～16:10	質疑応答
16:20～17:00	討 論